

2012 (平成 24 年)

広
報

びらとり

4

No.614



二風谷小学校入学式 (4/6)

今月号は...

- 平成 24 年度 町政執行方針
- 平成 24 年度 教育行政執行方針
- 平成 24 年度 予算概要
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

町政執行方針



町長 川上 満

平成24年第2回町議会定例会は、3月5日に招集し、川上町長が町政、斉藤教育長が教育行政のそれぞれ平成24年度執行方針について説明しました。

本紙ではその概要をお知らせしますが、全文は町ホームページに登載していますので、ご覧ください。

私は町長としての重責を担い、3年8カ月が経過いたしました。この間、町民の皆様からの温かいご支援、議員各位からのご指導をいただいたことに心より感謝を申し上げます。就任以来「町民が健康で豊かに安心して暮らせる町づくり」を目標として最大の努力を重ねてきたところです。

主要な施策の推進については、平取町総合計画を基本とし、事業の展開を図ります。

資源をいかし、生産の喜びと活力に充ちたまちづくり

農業振興対策 トマトは、6年連続して生産量1万トンを超え、販売額についても過去最高となる41億円を突破したことは名実ともに「びらとりトマト」が全国ブランドとなったものであり、関係者の努力に対して敬意を表するところであります。



びらとりトマト 記念祝賀会

担い手育成対策は、新規参入者が現在まで14戸就農し、地域農業活性化に大きく貢献しています。不足している農業研修生住宅を、振内地区に新築整備するよう計画しています。

林業振興対策 新たに策定された森林整備計画に基づき積極的に森林整備対策を実施します。

商工業振興対策 アイヌの伝統工芸を活用した、地域ブランド化に向けた取り組みを実施し、木彫りやアイヌ文様の刺繍、織布等の伝統工芸を地域資源として捉え直し、特産品として開発します。

また、地元工芸家とともに伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づく工芸品の指定をめざします。

観光振興対策 びらとり温泉及び二風谷ファミリールンドは、築34年を経過し、全面リニューアル及び宿泊施設の整備を含めた事業費を総合計画に計上し、総合計画審議会

での協議、町議会への説明を経て、平取町老人福祉センター改築事業検討委員会において慎重に審議をいただき、温泉施設と宿泊施設を含めた建設の協議結果をいただいたところです。事業実施にあたりましては、町民の皆様からいただいた意見、提案等を真摯に受け止め、町民に心から喜んでもらえる温泉施設の整備を行います。



びらとり温泉

雇用対策 本年度においても町有林造成事業等に係る作業員の雇用について予算措置を図り、雇用促進に努めます。

自然と共生し、
快適で安全な暮らしづくり

道路・交通機関の整備 町道整備では、荷負本村線、貫別アブシ線、荷菜酪進線、荷菜福満線の改良事業、新たに本町市街中央線及び振内市街線の改良事業並びに荷負坂線歩道整備事業について実施します。

情報通信の整備促進 光ファイバーによる高速通信網が整備されたため、インターネットを活用した福祉、医療及び教育などの公共分野での有効活用が図れるよう積極的に検討します。

防災・消防・救急救助体制 東日本大震災を教訓に、災害に強いまちづくりをしなければならぬと痛感しているところです。

防災意識の啓発に取り組み、地域防災力向上をめざします。
環境保全及び環境衛生 エゾシカ等による農林業被害にについては、平取町鳥獣被害防除対策協議会を設立し、協議されており、3カ年計画で町内約450kmに及ぶ侵入防止柵の整備を実施します。

住宅・住宅環境 本町上団地1棟2戸の建設と振内新団地における整備を行い、居住環境の改善に努め、移住定住対策については、「地域おこし協力隊」事業を継続し、短期間滞在していただく、「ちよつと暮らし」事業を本格的に実施します。



地域おこし協力隊 (PC教室)

沙流川総合開発事業に係る水源地域の推進 平取ダム建設事業が一時凍結となる事態が続いていることは、誠に遺憾であり、一日も早く凍結解除となることを切望するところであります。流域住民の生命と財産を守るためのダム建設事業の継続と早期完成を、今後とも力強く訴えます。

生涯を通じ生きがいと
元気にあふれるまちづくり

健康づくりの推進・医療機関の充実 住民一人ひとりが健康意識を持ち、自立した日常生活がおくれるよう、第5期高齢者福祉計画・介護保険計画を策定しました。

国民健康保険病院の運営については、常勤医師4名体制を目指し、院外処方への移行については、医師体制が整い病院本来の住民サービスの提供が可能となった時点で実施できるように準備を進めます。

子育て支援対策 「安心して子どもを産み育てたくなるやさしい町づくり」を推進するため、すこやか赤ちゃん誕生祝金、乳幼児医療費助成、小・中学校生の医療費無料化を引き続き実施します。

子宮頸がん及び小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチンについても、全額公費負担での接種とし、子育て支援事業に遺漏のないよう配慮します。
アイヌ福祉対策 平取町アイヌ文化振興基本計画を指針として、アイヌ文化の継承を目指します。

歴史風土や文化を愛する
心豊かな人づくり

伝統文化の保存伝承と文化遺産の保存・保護 イオル再整備事業で整備したコタンの再現空間、イオルの森及び水辺空間を、伝承活動の基盤として、保存伝承活動が展開されます。



イオル再生事業子セノミ

人と人とのつながりを大切にし、
魅力的で個性あふれる
まちづくり

町民自治活動・まちづくり運動の推進 町民税1%まちづくり事業は、3年が経過しましたが、各団体においてユ

ニークな事業が計画実施され、共に創るまちづくりに相応しいものとなっています。引き続きアイデアを重ねた事業が申請されることを期待しています。

行財政改革の推進及び財政の健全化 平取町独自の施策展開やこれらの行政課題に対応できる自治体を構築するため行財政改革大綱に基づき、行財政改革に努めます。

また、財政健全化法に基づく健全化判断4指標に配慮しながら、持続可能な財政の構築に努めます。

以上、平成24年度の町政執行にあたり、所信を申し上げます。ところであります。

地方自治体を取りまく環境は、非常に厳しい時代ではありますが、職員が一丸となつて効率的な財政運営と効果的な住民サービスを維持し、町民の福祉の向上と、私たちの「ふるさと平取」発展のため、私は町民の先頭に立つて力の限りを尽くす所存であります。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。町政執行方針といたします。

平成24年度教育行政執行方針



教育長 齊藤 憲章

現在、教育基本法並びに教育三法の改正による教育改革が進められ、前年度より小学校が、そして平成24年度より中学校で、新学習指導要領に基づく、教育活動が実施されます。各分野における今日的課題は、教育基本法に基づく、町教育推進計画を策定し、その計画の重点施策について申し上げます。

生きる力を育む

学校教育の推進

学校教育については、全国学力・学習状況調査への全小・中学校の参加と標準学力検査の実施について奨励し、「学校改善プラン」に基づく、基礎的な知識及び技能を徹底して身に付けるための、授業の展開に努めてまいります。

地域に信頼される学校運営の推進
学校・地域・家庭が一体となつて、児童生徒を育むために家庭のみならず、教育活動内容につ

いて、地域への発信等を積極的に進めるとともに、保護者や学校評議員からの意見を学校運営に反映させてまいります。

学校教育環境の充実

児童生徒の安全・安心と質の高い教育効果を確保するために、高等教育をめざす町民への奨学金貸付制度を継続してまいります。

学校施設の充実については、児童生徒が機能的な学習環境で学べるよう整備充実に努めてまいります。

芸術・文化の向上

芸術文化の向上については、町民が多くの優れた芸術や文化に触れ、心豊かな生活を送ることができるよう、広域的な文化交流を推進し、芸術文化活動の成果発表機会の充実を図ってまいります。



昨年発足した平取中学校「吹奏楽同好会」

健康・体力づくりの

魅力ある社会体育の推進

生活習慣の変化に伴い精神的なストレスなど、健康への関心が高まっております。このことから年齢に応じたスポーツに

親しむ機会の提供を進めます。また、近年、児童生徒が各種競技大会において優秀な成績を収めております。このことから、体育協会やスポーツ少年団等と連携のもとに、より一層の競技スポーツの選手育成及び体制の強化を図ってまいります。



活躍は全国大会でも

文化財保護と活用の推進

有形・無形文化財については、先人の残した貴重な文化遺産を保護するとともに、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」や北海道

遺産に選定されているアイヌ語地名・アイヌ文様・アイヌ口承文芸など、アイヌ文化伝承活動を推進し、さらに保存・保護に努めてまいります。

埋蔵文化財の保護と活用の推進

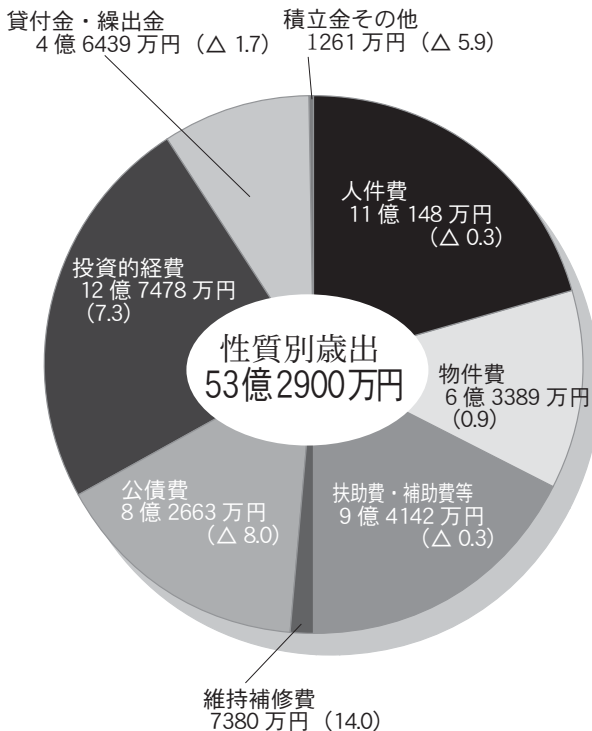
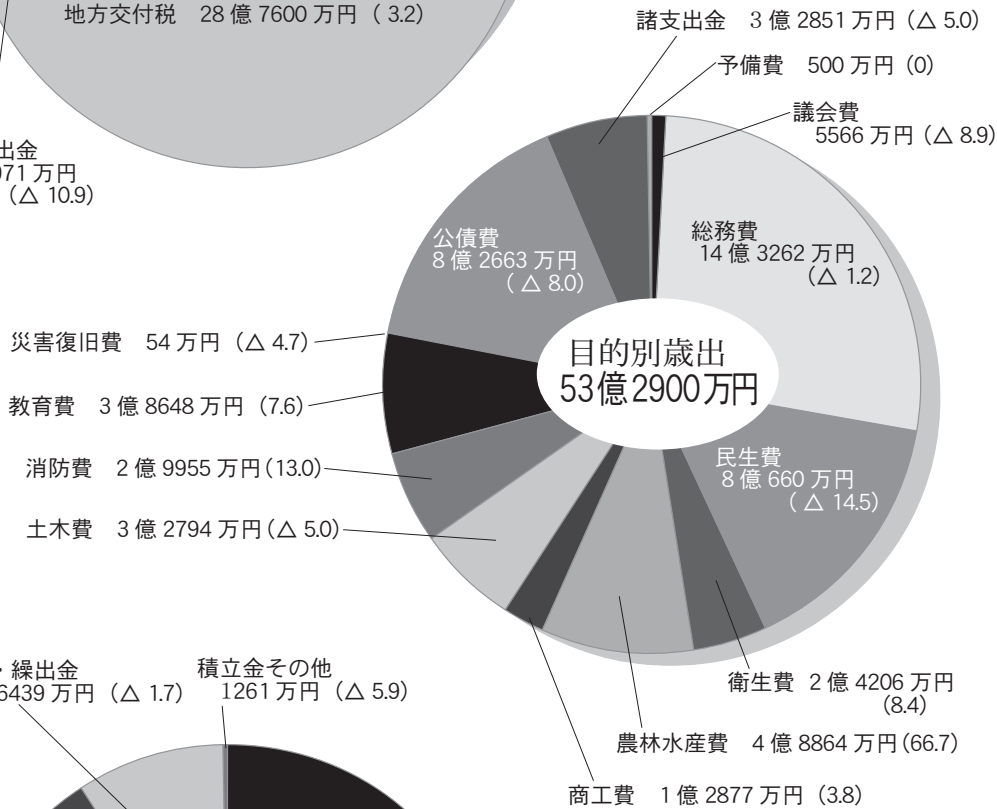
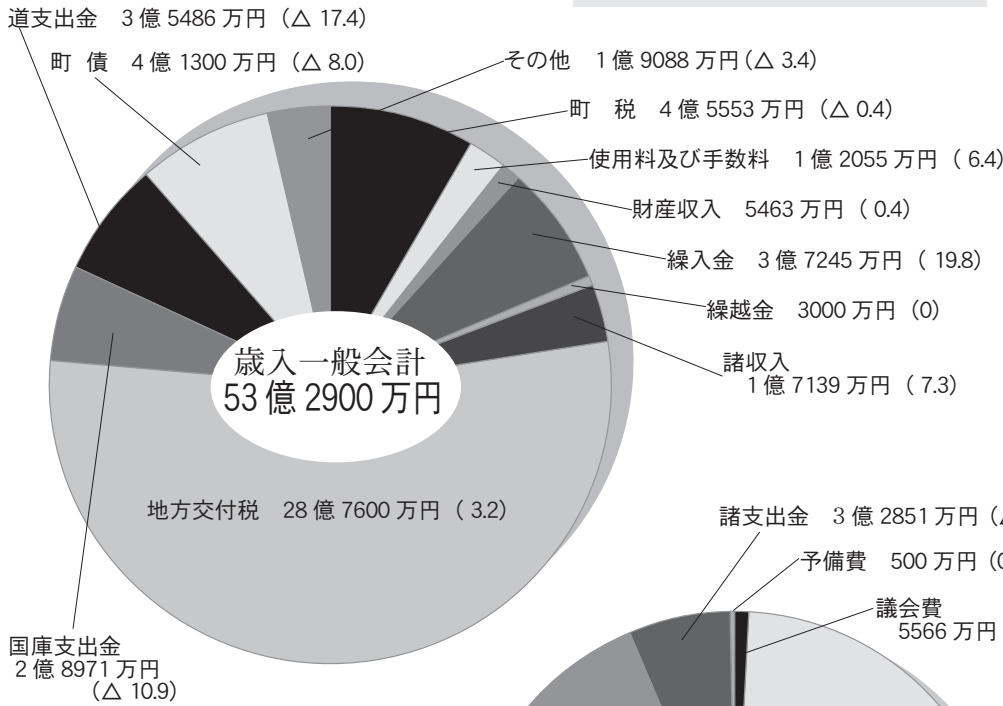
埋蔵文化財については、町の貴重な財産であることを広く周知し、引き続き各種事業や広報誌などを通じ、文化財保護の普及啓発に努めてまいります。

教育委員会は、「平取町の歴史風土や文化を愛し豊かな心の育成を図る生涯学習社会の実現をめざして」を基本理念とする、平成24年度からの平取町教育推進計画並びに平成24年度教育行政執行方針の確実な実行に向けて、全力で取り組んでまいります。

町民の皆様におかれましては、当町の教育行政の推進に、より一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成24年度 予算概要

【() 内は 23 年度比 単位 %】



平成24年度の町予算が議決されました。総合計画実施計画・収支計画を基本として編成した各会計予算は、一般会計が総額53億2900万円(前年度比0.3%の増)、特別会計は総額23億5075万円(前年度比4.1%の増)となっております。

本誌では一般会計についてお知らせします。

別途、主要事業内容などを記載した予算概要書(簡易版)を戸別配布します。

基金(貯金)残高の見込み		
	24年度末	町民一人当たり
一般会計	19億8080万円	35万8千円
特別会計	1億935万円	2万円
合計	20億9015万円	37万8千円
町債(借金)残高の見込み		
	24年度末	町民一人当たり
一般会計	57億8352万円	104万6千円
特別会計	11億9552万円	21万6千円
合計	69億7904万円	126万2千円

※町民一人当たりの額は、平成24年3月末現在人口5,528人で算出しています。

まちの広場

(すずらんのみち びらとり)

受賞おめでとうございます

税をテーマとしたポスター (3/7・13)

「第26回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」で、平取中学校1年の高橋柚名さんが日高振興局長賞を、そして旧貫気別中学校2年の川上絢也さんが日高教育局長賞を受賞しました。

3月7日に旧貫気別中学校で、13日に平取中学校で、日高振興局地域政策部の河合寿司 税務課長より賞状等の伝達があり、受賞した川上さんに感想を聞いたところ、「受賞を聞いて驚いた。貫気別中学校最後にこういう賞をもらってうれしかった」と答えてくれました。



平取中学校
高橋柚名さん



旧貫気別中学校
川上絢也さん



松澤さんの第三子のお子さん「愛来ちゃん」

ご出産おめでとうございます

仁世宇 松澤雅彦さん (3/29)

町で実施している「すこやか赤ちゃん誕生祝金」が、この度、仁世宇の松澤雅彦さんに贈られました。

この事業は、主に第三子以上の出産者に祝金が贈られる平取町の特色ある事業の1つになっています。

町長室を訪れた松澤さんは「子供のために大切に使用したい」と話してくれました。

地域交流の場に…

いわちしパソコンくらぶ (4/4)

岩知志自治会では、今年1月から毎週水曜日に高齢者向けのパソコン教室を、岩知志ふれあい館で開いています。

地域おこし協力隊の3名をはじめ、地域の若者や経験者が講師になり、参加者は年賀状作成など、思い思いの目標を持ちながらパソコンに触れています。

参加者も延べ30名を越え、毎週にぎやかな教室となっているようです。

川上憲司自治会長は「電源の入切からはじまった教室だが、少しずつやれることも増えてきた。また、地元の若者と高齢者が助け合いながら交流できている良い環境なので、大切にしたい」と話している。



パソコン教室の様子

鈴の音で交通安全!!

商工会女性部 (4/9)

真新しいランドセルと登校の嬉しさ、緊張を背負った新入学児童 32 名が、各小学校に入学しました。

今年も交通事故にあわないようにと、商工会女性部の皆さんが手づくりした「交通安全愛の鈴」が、プレゼントされました。

この日、平取小学校入学式に併せて、黄色い毛糸で編まれた愛の鈴が、新入学児童一人ひとりのランドセルに取り付けられました。



皮膚科外来が開設されました

平取町国民健康保険病院

国保病院に4月より、かねてから要望のあった皮膚科が開設されました。担当されるのは、手稲溪仁会病院の西坂尚大医師で、毎月第2、第4火曜日に来町され、受診できるようになりました。

西坂先生は、「都市部でも、地方でも同様の医療が提供できればと考えています。手術も機材の許す限り行い、患者さんの手助けをしていきたい」と今後の抱負を笑顔で話されていました。



町民課住民年金係
兼ふれあいセンター
びらとり管理係
貝澤 李奈



産業課林務係
澤井 順英



生涯学習課
社会体育係
沼田 大地



国民健康保険病院
庶務医事係
仲野 修



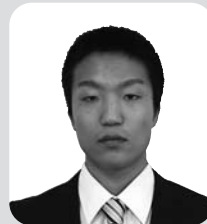
保健福祉課
保健推進係
山田 栄子



税務課課税係
西野 千夏



出納室出納係
千葉 修子



まちづくり課
企画係
小林 崇紀

新採用職員紹介

4月1日付けで新採用となった職員8名を紹介します。

一日も早く職場環境に慣れ、町民の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。